

みせん

瀬戸内海国立公園
宮島地区パーク
ボランティアの会

第75号

発行日
平成31年3月1日

◇ 目 次 ◇

P1：臨時総会・部会打合せ・自主研修会

P5：新役員・幹事の抱負

P7：弥山登山道清掃作業

P8：自主観察会（7）新春弥山登山

P9：自主観察会（8）野鳥観察（岩国）

P11：投稿記事、編集後記

P12：事務局連絡事項

（行事参加者一覧・行事予定）



厳島神社横の高台にあるカフェから望む夕陽に輝く五重塔と千畳閣です。
（写真：河野、撮影日時：2019年1月5日16時ごろ）

平成31年度宮島地区PVの会・定期総会を下記の要領で開催
しますので、会員の皆様、多数ご出席ください

日時：4月13日(土) 9:30~12:00（受付 9:00~）

場所：杉之浦市民センター

※ 欠席の人は委任状を提出してください

※ 午後から部会打合せおよび小なきり浜の観察会・清掃活動を
実施します

PV の会 臨時総会・役員改選・自主研修会

PV の会平成 30 年度臨時総会が 12 月 8 日(土)宮島市民センターに於いて開催された。

日 時：12 月 8 日(土)9：20～12：00

場 所：宮島市民センター

出席者：麻生 岩崎 大西 大林 小方(為) 小方(嗣) 小川 奥田 金山 川崎 北野 黒木 河野 小林
(勲) 小林(み) 佐渡 佐藤 島 末原 田内 中道 野呂田 檜和田 二神 穂井田 前田 舛田 松田
村上 元広 森 山本(章) 山本(昌) 横路 吉崎 呼坂 以上 36 名(委任状提出者を除く)

環境省：山崎自然保護官 大高下 AR

1.臨時総会関連



総会(1)

(1) 9:15 全体打ち合わせ

山崎自然保護官挨拶：4 月総会以後に着任して活動を見てきました。とてもしっかりした組織運営をしています。3 回の公募観察も無事に終わりました。今後も宜しくお願いします。

村上会長趣旨説明：来年度以降の役員を選任すること。活動についての忌憚のない意見交換をして頂きたい。新人の方で部会を移りたい方は部会長へ申し出てください。

今年度の活動概況報告：村上会長より雨天中止のもの以外は、行事は計画通り順調に進んでいる。問題点として、作業分担が特定の会員に偏っているのが、平準化の工夫が必要。行事推進委員は得意分野で力量を発揮されることを期待している。「継続は力なり」というが、活動が陳腐化していないか？

長くやっているとアキがくるので、やる気を起こす新しい仕掛けを考えよう。

平成 17 年から 14 年間会長を続けてきたが、本日をもって退任いたしたい。

小林観察部会長、末原環境整備部会長、岩崎広報部会長より活動状況の報告と、皆さんの参加がないと成り立たないので宜しくお願いしますとの挨拶がありました。

(2) 9:50 部会打ち合わせ

- ・任期満了に伴う新幹事の選出
- ・H31 年度活動計画立案の意見交換・提案



観察部会の会合



環境整備部会の会合



広報部会の会合

(3) 11:20 臨時幹事会

・任期満了に伴う新役員(幹事の中から互選)、
監査員の選出

(4) 11:30 臨時総会

岩崎副会長の進行にて総会成立(会員総数
49名中、出席会員36名、委任状提出者8名)
役員改選 総会前の臨時幹事会で選任のとお
り全員一致で承認された。

「幹事」

観察部会：小林 勲(部会長)

小川加代、北野孝幸、中道勉、舛田祐子、
村上光春、山本章伸、呼坂達夫、
(新)山本昌生 以上9名

環境整備部会：吉崎 俊(部会長)

川崎昭壽、佐藤庸夫、末原義秋、森 弘、
(新)河野 進 以上6名

広報部会 岩崎義一(部会長)

(新)麻生博史 以上2名

「役員」

- ・会 長：末原義秋
- ・副会長：岩崎義一、小林 勲
- ・会 計：舛田祐子

「監査」 森 弘

各部会より

観察部会： 公募観察会はリーダーの負担軽
減、メディア活用、観察時間などの工夫を
したい。

環境整備部会：清掃登山のコース変更。宮島
トンボ生息湿地清掃作業は6月から8月へ。
平日の活動を増やしたらどうかと考えてい
ます。

広報部会： 来年は会発足20年目にあたり(設
立20周年は2020年6月)、記念文集と20
年間の活動記録写真を中心とした冊子編集
を計画しています。



総会(2)

2.自主研修会： 「日本一のバオバブが広島 にやってきた！」



植物公園に来たバオバブ
(オーストラリアのカナナラにて)

日時： 12月8日（土）12：45～14：30
 講師：当会員 山本 昌生

広島市植物公園の職員であり農学博士でもある山本講師から、2017年10月に植物園にやってきた、日本一大きいバオバブの木についてお話をうかがいました。

会員の中には、既に植物公園で実物を見たり、テレビ報道で知っている人もいましたが、広島にきた経緯など詳しい事は知らなかったもので、大変興味深く聞きました。山本講師からは資料として、バオバブの現地の姿や実や花のきれいな資料を配っていただきました。



山本講師

山本講師から、まず、広島市植物公園の大温室が老朽化して雨漏りもするので改修することになり、併せてシンボルツリーを探した際、「星の王子様」にも登場しポピュラーな「バオバブ」が候補になったこと、またマダガスカル産やアフリカ産の入手は難しいが、オーストラリア産は現地で道路建設等のため伐採されることもあり、「木の命を引き継ぐ」という意味もあり入手可能になったこと、プランツプロデューサー「又右衛門」などいろんな人の協力のおかげで、大きなバオバブに広島に来てもらえるようになったことの説明がありました。



トレーラーで移動するバオバブ

来てもらうバオバブを選ぶ際には、山本講師も（初めての！）オーストラリアへ行き、現地調査をしたり木の掘り上げに立ち会ったりされたそうです。選ぶ基準として、形が良いこと、運搬可能なことに加え、やはり日本一の大きさのものを探したそうです。また、バオバブは樹齢がわかりにくいそうですが400年くらい経っているのではないかとのこと。

こうして選ばれたバオバブの木は、日本の検疫を受けるので根をよく洗浄したり、運搬の時傷つけないよう工夫したり、2か月間乾燥させるなど、移動・運搬のご苦労がたくさんあったそうです。

また広島の植物公園側でも、温室の改修や土の改良など受け入れの準備をし、2017年10月、ついに植物公園にバオバブの木が到着し、植樹されました。しかしその後も、虫が発生したり、枝に腐食が見つかったりしたので、担当の方は高い梯子に上がって木の世話をされたそうです。

この間、広島のテレビ局2社も関心を持ち、オーストラリアへもホームテレビの渡辺美佳アナウンサー達も同行取材をされ、昨年(2018年)3月にはテレビ放映されました。

最後に山本講師から、このバオバブが市民に親しんでほしいこと、そしてずっと長生きし、出来たら樹齢と同じぐらい後400年、この広島で生きてほしいとのお話がありました。

お話を聞き、皆さんの熱意と苦勞のおかげでバオバブが広島にやってきた事がわかりました。また、熱心な会員の皆さんからはたくさんの質問が出ました。水やりや土、花や実に関する事などさすが自然好きの皆さんからの質問のほか、「経費はいくら？」と言う本音の質問も。

私は、「この木に、これから 400 年生きてほしい」と言われた山本講師の言葉に、自然と関わっている方は、長い将来を見据えているのだと改めて考えさせられました。

(文 : 二神 、 写真 : 山本(昌) 麻生)

年末懇親会 15:00~16:30

会員 19 名、環境省 2 名が参加し、年末恒例紅葉谷公園「山村 茶屋」牡蠣バーベキューで、年忘れの懇親会。

熱々プリプリの牡蠣、おでん、あなご丼、うどん、ぜんざいと 自前のビールや酒で舌鼓と談笑で楽しいひとときでした。



(文・写真 麻生)

新役員・幹事の抱負

会長新任ご挨拶 末原 義秋

この度、会長の大役を仰せつかり、身の引き締まる思いでございます。至らないことが多々あるかと思いますがよろしく願いいたします。

当会も発足 19 年目を迎え、会員も 1 期生から 8 期生までの仲間で活動していますが、古くからの継続活動の目的がうまく伝わっていない状況が生じてきました。また、会員の高齢化による活動も考える必要が生じてきました。

活動内容の見直しや継続活動の必要性や目的を明確にし、参加者の安全確保を第一に無事故・無違反で活動して行きたいと思いますので、ご協力よろしく願いいたします。

副会長・広報部会長 岩崎 義一

引き続き副会長と広報部会長の役目を果たしていきたく、会員の皆さんのご協力をお願いいたします。

今年は会発足 20 年目となりその間会員も入れ替わり、活動の原点を忘れず続けていくことを大切にしたいと思っております。

副会長・観察部会長 小林 昶

今期も幹事に選任され身の引き締まる思いです。観光客は 430 万人を超えているそうです。世界遺産登録 22 周年を過ぎ、これから益々 PV の仕事が大事に成ってくると思います。皆で頑張りましょう。

環境整備部会長 吉崎 俊(新任)

他の様々なグループとの交渉事や、神社との対応などまごつくことばかりですが、ご指導、引き回しのほど宜しくお願い致します。

自分でできる範囲で責任を果したいと思しますので、サポート等よろしくお願い致します。

また報告・連絡・相談はしっかりして、会員全体での情報共有などにも努めていきたいと思致します。

会 計 舛田祐子

引き続き会計を担当させていただきます。間違いの無いようお金をしっかり管理し、また、ご報告させていただきます。会の活動がスムーズに行えるよう頑張りますので、よろしくをお願いいたします。

幹事・監査 森 弘

2015年4月入会、このたび二期目の幹事やらせて頂きます。環境整備部会で体力勝負しかできませんが、よろしくお願い致します。

幹事 麻生博史(新任)

広報誌みせんの編集担当を皆様の助けを借りながら担当します。広報誌はHPを通して活動記録、宮島からの情報発信源として当活動に役立つよう努めます。協力を宜しくお願い致します。

幹事 小川加代

19年前、手探りで始まったPV会の活動。マンネリと言われますが、ぶれない立ち位置が良い点と思います。個々の活動の方針が決まる幹事会。舛田さんの、幹事に女性がいないのはさみしいとの言葉に、少しでも女性会員、女性公募参加者のお役に立てればと幹事に残ることにしました。どうぞよろしくお願い致します。

幹事 北野孝幸

引き続き今期も幹事という役を引き受けさせていただきます。以前にも増して会員の皆様のご協力を頂きつつ、わが身の健康にも留意し、安全に宮島案内を務めてまいりたいと思います。

幹事 川崎昭壽

昨年は体調不良が続き十分な活動ができませんでした。今年は無理のない程度に参加率をあげたいと思います。

幹事 河野 進(新任)

会員1年目ですが、幹事になりました。多くの会員が参加できる楽しい行事の企画及び実施に参画していきたいと思っています。私の目標は全行事参加です。

幹事 佐藤庸夫

宮島にのめり込んで15年になります。よい仲間恵まれ楽しく参加しています。環境整備等々同じことの繰り返しですが、いつも新鮮で満足です。参加の度、元気貰っています。女性の会員・幹事が次回は増えるよう期待します。

幹事 中道勉

体力と気力が続く限り、自主学習会や公募活動では世界遺産に相応しい史跡巡りと自然観察会などが組み込まれた内容の奉仕活動が実行できるよう支援したいと思います。

幹事 村上光春

加齢に視線を合わせ、高齢化社会にマッチする、無理のない優しいボランティア活動に、心していきたいと思っています。

幹事 山本章伸

昨年に引き続き幹事になりました山本です。昨年は活動が少なく幹事としての役割が十分発揮できなくお迷惑かけております。今年出来るだけ参加させていただき、PVのお役に立ちたいと思います。

幹事 山本昌生(新任)

この度、新しく観察部会の幹事になりました。これまでの経験を活かし、皆様と共に活動を盛り上げていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

幹事 呼坂達夫

私は宮島生まれ宮島育ちでしたが島を離れて対岸の大野町に住み早や20年が過ぎ、島を離れて宮島の良さを痛感！宮島に渡った際には、来島者に季節折々の素晴らしい所を紹介して、宮島を楽しんで頂こうと思っています。



(写真 : 河野)

会長退任のご挨拶

村上 光春

昨年 12 月の臨時総会をもって会長を退任いたしました。

平成 17 年から 7 期、長いようで、またあつという間の 14 年間でした。

この間、「コンプライアンス」と「無事故無違反」をモットーに活動を進め、曲がりなりにも大過なく会長の任を終えられましたことは、ひとえに会員の皆様方のご協力とご尽力によるものであり、また、歴代の環境省自然保護官ならびにアクティブレジャーの方々のご指導によるものと厚くお礼申しあげます。

宮島への来訪客は年間 400 万人を超え、パークボランティアへの期待も年々大きくなっています。これからも会則の趣旨にそって、国立公園の保護と利用に寄与する活動を着実に進められるよう期待しています。

弥山登山道清掃作業

日時：12 月 19 日（水）9：00～16：00

天候：晴

場所：宮島ロープウェイ獅子岩駅～弥山山頂～仁王門～大聖院ルート

行事推進員：猪谷、嶋谷

参加者：猪谷 岩崎 大林 小方(嗣) 川崎 北野 黒木 河野 小林(勲) 小林(み) 佐渡 佐藤 末原 檜和田 前田 森 横路 以上 17 名

この時期にしては珍しく、素晴らしい快晴に恵まれて、紅一点を含む 17 名の参加者で今年最後の行事でした。スコップ・立鋏・竹箒・熊手を一人一つずつ持ってスタートです。タマミズキの赤い実を眺めながらのロープウェイで獅子岩駅まで登り、紅葉谷別れまでの 1 班と、そこから頂上までの 2 班に分かれて水路の土砂除去と落葉清掃を開始しました。水路の土砂除去組は、落葉清掃組に比べると大変な作業でしたが、観光客の皆さんからの労いの言葉で元気に作業できました。

途中、いつもより清水の湧き出す量の多い泉のモウセンゴケや、アカガシの空洞に育つサムラサキの美しい可憐な実を堪能しながら、待ち遠しい山頂での昼食時間となりました。

登山客に依頼するのが恒例となった記念集合写真の撮影をイタリア人へ頼み、国際交流にもなりました。

昼食時間もそこそこに、後半は、先行班と後続班を入れ替えて、仁王門経由で大聖院までの作業です。



道を横切る水路の土砂除去と落葉清掃を 8 丁（町石）付近まで行いました。

清掃途中で体調不良で歩行困難となった 87 才のシニア男性と出くわし、末原会長が宮島消防署へ救助依頼し、救急ヘリコプターで搬送するハプニングもあり、予定終了時間をはるかに超えた 16 時 30 分の棧橋帰還となりました。



（ 文：猪谷 、写真：岩崎 ）

自主観察会(7) 新春弥山登山

日時：1月5日(土) 9:00~16:00

天候：晴

場所：紅葉谷ルート～弥山山頂～仁王門～大聖院ルート・大元ルート

行事推進員：元広、山本(章)

参加者：麻生 猪谷 岩崎 小方(嗣) 北野 河野
小林(勗) 佐渡 兎谷 中道 平田 二神 穂井田
三戸 村上 元広 森 横路 吉崎 以上19名

曇り空の寒い日になりましたが、19名もの会員が集まりました。岩崎副会長から「今年は宮島パークボランティアが発足して20年目になります。今年最初の行事ですので、頑張りましょう。」と挨拶がありました。北野会員のご指導のもとで準備運動をした後、午前9時40分に紅葉谷公園を出発しました。

猪谷会員が、みやじまの宿 岩惣の珍しい門松の話聞かせてくださいました。20分後、8号堰堤で小休憩をしました。「寒いけれど、歩いていると結構暑くなるね」という声が多く聞かれました。

午前10時45分から恒例のミミズバイの測定を開始しました。複数の会員で協力しながら、5番、4番、3番、2番、1番の順に高さの測定をしました。1番のミミズバイの測定を終えた後、午前11時30分に山頂に到着しました。

岩崎会員は、これも恒例ですが、巨石(くぐり岩)のトンネルの高さを測定されました。新春の山頂広場は、登山客で満員状態でした。山頂広場で昼食となりましたが、ここでハプニングがありました。

河野会員がカップラーメンにお湯を入れた後、ちょっと席を外された際に、一羽のカラスがカップラーメンを持って飛び去ってしまいました。一瞬の間の出来事でした。

昼食後、大聖院コースで下山を開始し、午後2時に大聖院に無事に到着しました。



登山風景(1)



ミミズバイ調査 大黒天①標高385m



山頂下くぐり岩 空間高測定 190cm



弥山山頂で集合写真



仁王門

ミミズバイの測定記録 (記録者：岩崎)

名称	番号	樹高 (cm)	幹周 (cm)	場所	標高 (m)
大黒天	①	121	4.5	大黒天上 左側	385
15号	②	91	4	15号堰堤 上右側	370
大岩下	③	145	6.9	14号堰堤 上 右側	350
13号	④	210	6.3	13号堰堤 上 右側	320
天然橋	⑤	325	13.5	天然橋 右側	300

補足：

- ① は崖下に向かい倒れていたので直立させた。
- ③は道沿いの為、先端部が切断されていた。
- ⑤には別に大木(13m 31cm)有り。

(文：元広 写真：河野)

自主観察会(8) 野鳥観察(岩国)

日時：2月2日 9:20～15:00

天候：晴れのちくもり

探鳥コース：南岩国駅～蓮田内～岩国市場
(トイレ休憩など)～海岸～海岸付近で昼食、
食後に解散

行事推進員：大西、穂井田

参加者：大西 川上 北野 黒木 河野 小林
嶋谷 末原 兎谷 穂井田 前田 吉崎
以上 12名



晴天のもと 主に冬鳥の野鳥観察会が行われました。南岩国駅のすぐ近くに広がる蓮田に目を凝らしながら、そして野鳥の会の吉岡ご夫妻のご協力を仰ぎながら様々な野鳥を観察する事が出来ました。



この時期ポピュラーな、すずめ、かも類に加え貴重な【タゲリ】も数羽見る事も叶いました。その姿と羽の色の美しさに感動しつつ、食欲に他の野鳥も探した結果、40種類の野鳥を発見できました。

海岸で波間に漂う海鳥をみながら昼食をとり解散となりました。皆様、お疲れ様でした。



モズの♂は、賑やかな地鳴きが聞こえてきそう～～～



ハシビロガモの♂



ハシビロガモ♂に会われたのですね。♂は色が派手ですよね。♀もその上品さまで観察できて嬉しかった鳥です。



タゲリの凛とした美しさは田圃の貴婦人と称されるにふさわしい姿で、カッコいいですね。



オナガガモは飛び上がり、オスプレイは、着地態勢に入っていますね。おもしろいですね。岩国ならではの写真かと・・・

観察種の一覧表 (大西)

カワウ	タカブシギ	ムクドリ	ホオジロ
コガモ	アオサギ	トビ	シロハラ
ヨシガモ	ダイサギ	ハイタカ	ツグミ
ヒドリガモ	コサギ	モズ	ジョウビタキ
オナガガモ	オオバン	ハシボソガラス	スズメ
ハシビロガモ	タゲリ	ハシブトガラス	タヒバリ
ウミアイサ	タシギ	ヒバリ	キセキレイ
カイツブリ	クサシギ	ヒヨドリ	ハクセキレイ
ハジロカイツブリ	セグロカモメ	カンムリカイツブリ	セグロセキレイ
キジバト	イソシギ	メジロ	シメ

確認できた種計 40 (終了後帰路で更に 9 種見ました) は、冬鳥 (20 種)。他は留鳥。

(文 : 川上 写真 : 北野、河野
写真コメント : 大西)

投稿

◇ 編集後記 ◇

琴となり 下駄となるのも 桐の運

わたしの子供の頃はプラスチックといえば、セルロイドかベークライトであった。木材、土石、鉄などの天然素材が主体の世の中に、プラスチックは夢の国、科学の国からの不思議な贈り物だった。

高度経済長のもと、ナイロン、塩ビ、PP、PET・・・

次々と新しいプラスチックが現れた。プラスチックは社会の隅々まで行き渡り、快適で豊かな生活をもたらした。

やがて、その便利さが仇となり、一部のプラスチックは生活圏から溢れだし、海岸漂着ごみや、道端の投棄ごみとなった。プラスチック性悪説や不要論が一部でささやかれ、プラスチックの研究開発に係わった者には想定外のことであった。

去年は明治維新から 150 年、今年セルロイドが発明されてから 150 年。幕臣 林忠崇 が詠んだ文頭の句がなぜか二重写しになる。

村上 光春

1月で65才。年金がただでシルバーの仲間入り。宮島PV諸先輩見習いながら、活動参加とみせん編集で体力維持と脳に刺激を与え続けたいと思っています。

紙面作りは難しいです。試作の段階では11ページきっちりだったのが、最終ではスペースが出来て仕舞いました。前任の方々のご苦労が分かります。

それで、スペース調整に写真を1枚追加。昨年、1月に弥山登山をしたときに、干満岩の水が氷結していました。(麻生)



瀬戸内海国立公園
宮島地区パークボランティアの会

事務局：環境省 中国四国地方
環境事務所 広島事務所
(〒730-0012)

広島市中区上八丁堀6番30号
広島合同庁舎3号館1階

TEL082-223-7450、FAX082-211-0455